

道 -ROAD-

大阪学芸中等教育学校
校長室だより

「人間は考える^{あし}葦である」

今年の夏は記録的な猛暑でしたが、ここ数日は台風の影響で不安定な天候が続いています。まだまだ残暑が厳しいので、くれぐれも体調管理はしっかり行ってください。

新学期が始まって約2週間がたちました。学校全体としては、概ね順調にスタートしていますが、いろんな場面で生徒の皆さんを見てみると、「よく考えて行動しているのか。」と思う時があります。今どうすべきなのか、何をしてはいけないのか等、人任せにしたりせずよく考えて、そして行動に移して欲しいと思います。

17世紀にフランスで活躍したブレーズ・パスカル(1623年~1662年)という科学者・哲学者を皆さんは聞いたことがあると思います。その功績の中でも有名なものは、円錐曲線に関する「パスカルの定理」や「パスカルの三角形」といった数学における数々の発見があります。また、気圧の単位「パスカル Pa」も圧力に関する「パスカルの原理」を発見した彼の名前が採用されたものです。その他、哲学、思想、神学など才能は多岐に及びました。

パスカルの随想録「パンセ」(思想という意味)の中に、「人間はひとくきの葦にすぎない。自然の中で最も弱いものである。だが、それは考える葦である。」という一節があります。この一節は、『人間は考える葦である』という有名な言葉として後世に残されています。「葦(アシ)」はヨシとも呼ばれ、水辺に群生する、ススキに似た穂をつける多年草で、弱々しいものを代表しています。この言葉の意味は、**人間というのは弱い面もたくさん持っているが、「考える」という働きがあるから偉大である**ということです。

学校では、皆さんは一人で生活しているのではなく集団で生活を送っています。ですから、学校には集団としての決められたルールがあるのです。2学期の初めにあたり、今一度学校生活を振り返り、次に何をするのかを**“よく考えて行動”**してください。

人間は振り返り反省したうえで、これから先の態度を考えます。「なまけたい」「楽をしたい」といった弱い気持ちが出てきたときこそ、今何をしなければならないかをよく考えることです。そして、次に自分で判断するということです。**自分の目を見て、自分の心で聴き、自分の頭で考え判断する**ことが大切です。悔いを残さないためにも日頃の行動を振り返る事が、自分をより良くしていくことにつながっていくでしょう。

6年生は明日から三者面談が始まります。面談ではじっくりと話し合い、悔いのない進路選択をして欲しいと思います。そして、4月からの新しいステップへつなぐために、卒業までの残りの日々を**“よく考えて行動”**することを心掛けてください。先日指定校の発表も行われ、今まさに正念場ですが、努力が必ず報われ、春の訪れとともに新しい進路先での希望が膨らむことでしょう。

また、1~5年生は、明日遠足に出かけます。1・2年生は、奥水間アスレチックスポーツでカレー作り、3年生は京都市内、4年生は神戸市内、5年生は大阪市内で班別活動を行います。特に、3年生と5年生は10月の海外研修旅行、海外修学旅行に向けての取組みの一つです。そのことを十分自覚し、気を引き締めて遠足に臨んでください。

遠足を成功させるためには、**集団で行動するうえでのルールやマナーを守り、他の人に迷惑をかけない**ことが重要です。人の話をしっかり聞き**“よく考えて行動”**してください。自分勝手な行動は慎み、各自が責任をもって活動してほしいと思います。